

# 地質標本館の来場者

## アンケート分析

(2024 年度)





# 地質標本館の来場者 アンケート分析 (2024 年度)

2026 年 1 月

国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
地質調査総合センター 地質情報基盤センター



## 要旨

地質標本館におけるアウトリーチ活動のPDCAサイクルの構築(特にCA)を進めるため、2024年度に地質標本館で実施した特別展・企画展、及び常設展示等に関する、来館者から回収した無記名アンケートの分析を行った。この分析は毎年度ごとに実施しているもので、アンケート分析を通して、地質標本館に対するユーザーのニーズを把握するとともに、地質標本館の運営方針策定の基礎資料としている。

2024年度に回答しやすくするため、分析項目の見直しを行ったが、2016年度途中から始まった項目を概ね継続している。すなわち、来館者自身に関わる情報（年齢）、館内展示に関する情報（展示内容、展示設備など）、来館のきっかけ、解説サービスに関する情報（見学案内、二次元コードなど）、及び全体的な感想などからなる。

これらのアンケート結果は、引き続き地質調査総合センター（以下、GSJ）のアウトリーチ拠点としての地質標本館の運営・施設改修へつなげるための一次データとして重要である。

## 1. はじめに

本報告は、地質標本館の来館者にご協力いただいたアンケートについて、2024 年度分を取りまとめたものであり、基本的には前回までの報告（地質情報基盤センター, 2016a, b, 2017, 2018, 2019, 2020, 2023, 2024）に沿ってデータ集としてまとめている。技術資料集での取りまとめの目的は、前報告書に記したとおり、地質標本館における運営の PDCA サイクルの実施（特に CA 部分；評価と改善）である。

アンケートは Web 方式（Microsoft365 Forms）で行っている（2020 年 9 月に紙から Web 方式に変更）。これまでも指摘しているように、回収されたアンケートに書かれたコメントは全来館者の意見を網羅しているわけではない。しかしながら、アンケートに記されているコメントは、ユーザーのニーズを知るための貴重な一次情報であると認識した上で本報告をまとめた。これまでの報告を含めて、今後、「地質標本館のニーズ分析」、「展示企画立案」、「地質標本館グッズ開発」等へ活用し、そしてアウトリーチ活動に関わる GSJ の各研究部門の研究者にフィードバックすることで、一般向けの展示物作製やその他の研究成果普及活動の後押しとなることを期待する。

## 2. アンケートの取りまとめ

取りまとめの方針は、当該期間におけるアンケートの項目（第 1 表）の集計及び来館時の受付で記入いただいた項目（第 2 表）を使用することで、「一般の人から地質標本館に求められているもの（ニーズ）」、「展示改修・展示企画立案」、「地質標本館グッズ開発」等に関する情報を抜き出し整理した。それらを図示し、前報告書と構成も含めて視覚的に対比できるようにした。

なお、当該期間における地質標本館では、特別展・企画展（第 3 表）が開催されているが、開催期間中のアンケートも同じ項目としている。

第1表 アンケートの内容

1. 地質標本館はいかがでしたか。 ①満足 ②やや満足 ③やや不満足 ④不満足
2. 年齢 ①18歳以下 ②19~29歳 ③30~49歳 ④50~64歳 ⑤65歳以上
3. 今回のご来館のきっかけとなったものをお選びください。(複数選択可) ①地質標本館ウェブページ ②地質標本館以外のウェブページ ③産総研SNS ④その他のSNS ⑤ポスター ⑥その他
4. その他を選択した方は、きっかけとなったものをお知らせください。
5. ご興味を持った展示テーマをお選びください。(複数選択可) ①岩石 ②鉱物 ③化石 ④地震 ⑤火山 ⑥資源 ⑦地熱・地中熱 ⑧海洋地質 ⑨地質図 ⑩その他
6. 特に興味を持たれた展示テーマがあればお知らせください。
7. 展示の仕方や表示方法(パネル、ラベル等の説明)はわかりやすかったです。 ①満足 ②やや満足 ③やや不満足 ④不満足
8. 展示の仕方、表示方法について感想等をご自由にお書きください。
9. 受付の対応はいかがでしたか。 ①満足 ②やや満足 ③やや不満足 ④不満足
10. 展示室、トイレ、洗面所及び通路の清掃は行き届いていましたか。 ①満足 ②やや満足 ③やや不満足 ④不満足
11. 説明員の解説はいかがでしたか。 ①満足 ②やや満足 ③やや不満足 ④不満足
12. 二次元コード解説はいかがでしたか。 ①満足 ②やや満足 ③やや不満足 ④不満足 ⑤利用していない
13. 説明員や二次元コードの解説について感想等をご自由にお書きください。
14. 当館へのご希望、ご意見をご自由にお書きください。 (例) 常設展示、特別展・企画展、ミュージアムグッズ、館内イベント、ご要望など

第2表 受付時記入項目

人数	地域別	区分（職種）	来館回数
----	-----	--------	------

第3表 2024年度特別展・企画展

展示時期	タイトル
4月23日～9月1日	地質標本館 特別展 「プレートテクトニクスがつくる なぞの温泉『深部流体』」
9月3日～11月24日	地質標本館 企画展 「火山列島に生きる」
2025年1月7日～4月20日	地質標本館 企画展 「テフラ2—空から降った地下からの手紙—」
1月15日～3月2日	地質標本館 企画展 「祝認定！ ヘリテージストーン 天然石材遺産—筑波山塊の花崗岩—」
3月4日～4月20日	地質標本館 特別展 「GSJのピカイチ研究—2024年のプレスリリース等で発信した成果より—」

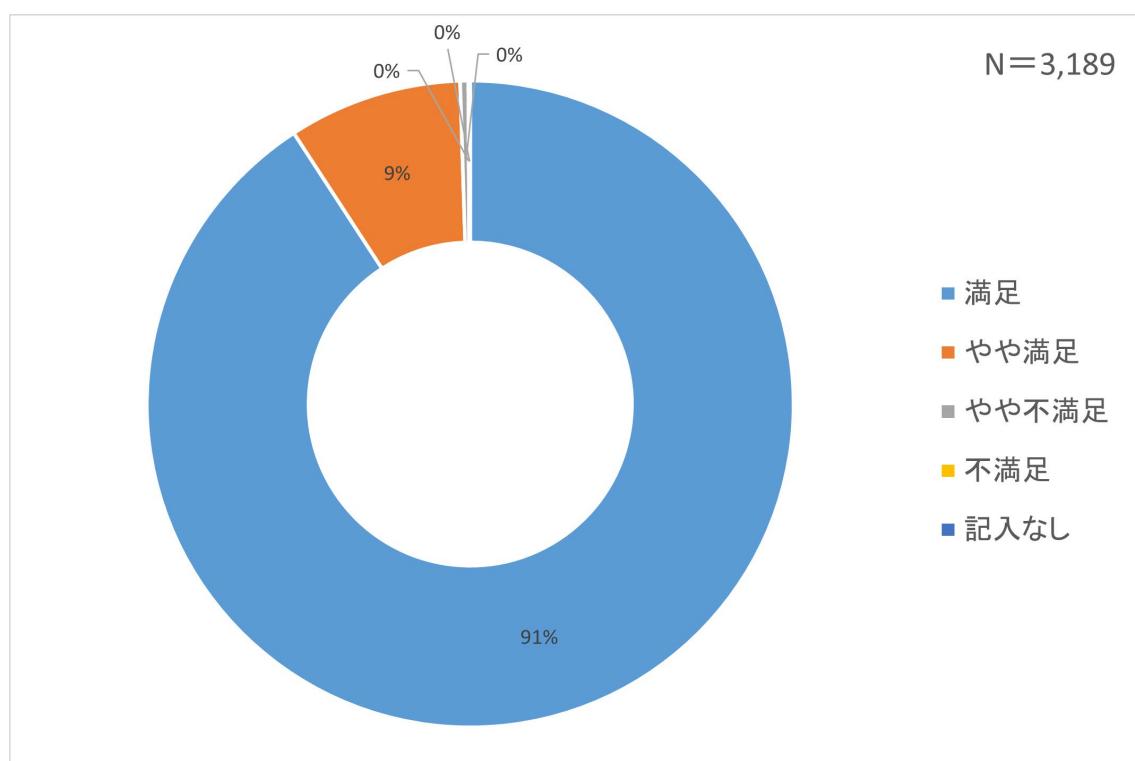
### 3. アンケート内容の分析結果と個別対応案

期間内のアンケート回収数の総計は 3,189 件である。2024 年度の来館者数が 54,720 人（過去最高）で、約 5.8% の回収率になる。アンケートを Web 方式に変更し、設問内容の見直しを行ったこともあり、回収率はわずかに上がってきている（2023 年度の回収率約 5.5%）。なお、この間の団体来館者は 10,603 人で全来館者数の約 19.4 % を占めている。団体客や学校単位での来館においては、来館者の見学時間を確保するために、引率者のみにアンケートに回答するようお願いしている。

以下、アンケート内容（第 1 表）の順に沿って、各項目の集計結果を見ていく。

#### 3.1 全般的な満足度

最初に、来館者が館内で感じたことについて見てみる。まずは館内での見学全般を通してどう感じていただいたかという質問である。回答を見ると、大半が「満足」とあり、「やや満足」を含めると回答を記入していただいた方の 100 % が満足という結果となった（第 1 図）。昨年より満足の割合が 2% 上昇しており、今の地質標本館に満足と感じていただけたようである。ただ、小数点以下を四捨五入しているため割合としては 0% であるが、「やや不満足」、「不満足」と回答された方が僅かながらいることは、今後の取組でも大事な意見としたい。

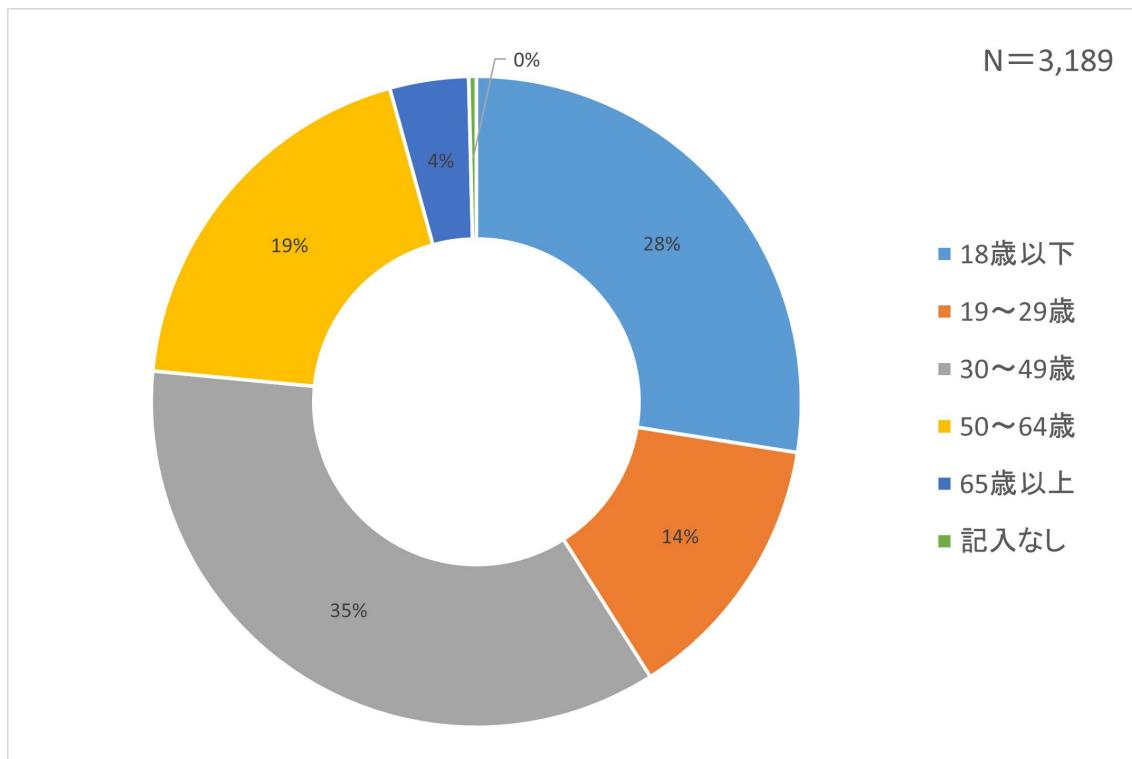


第 1 図 満足度（館全般）

### 3.2 回答者の年齢層

回答者の概要を考える参考として年齢層を見てみる。

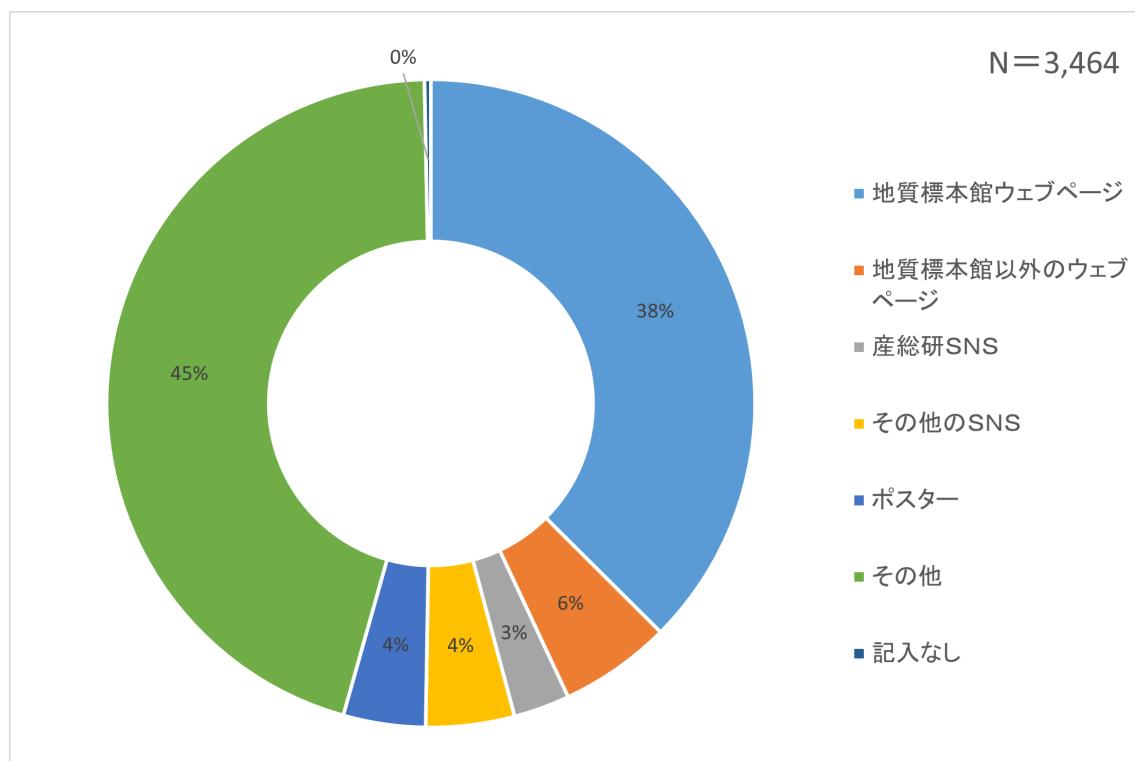
回答者の年齢（第2図）の傾向を見ると、これまでと同様に30～40歳代が一番多く、18歳以下が2番目に多かった。18歳以下が前年度（24%）から28%と大きく伸びているが、50歳以上の回答率も前年度（21%）から23%と伸びていることから、年齢に関係なくWeb方式が受け入れられていると思われる。



第2図 年齢層

### 3.3 来館のきっかけ

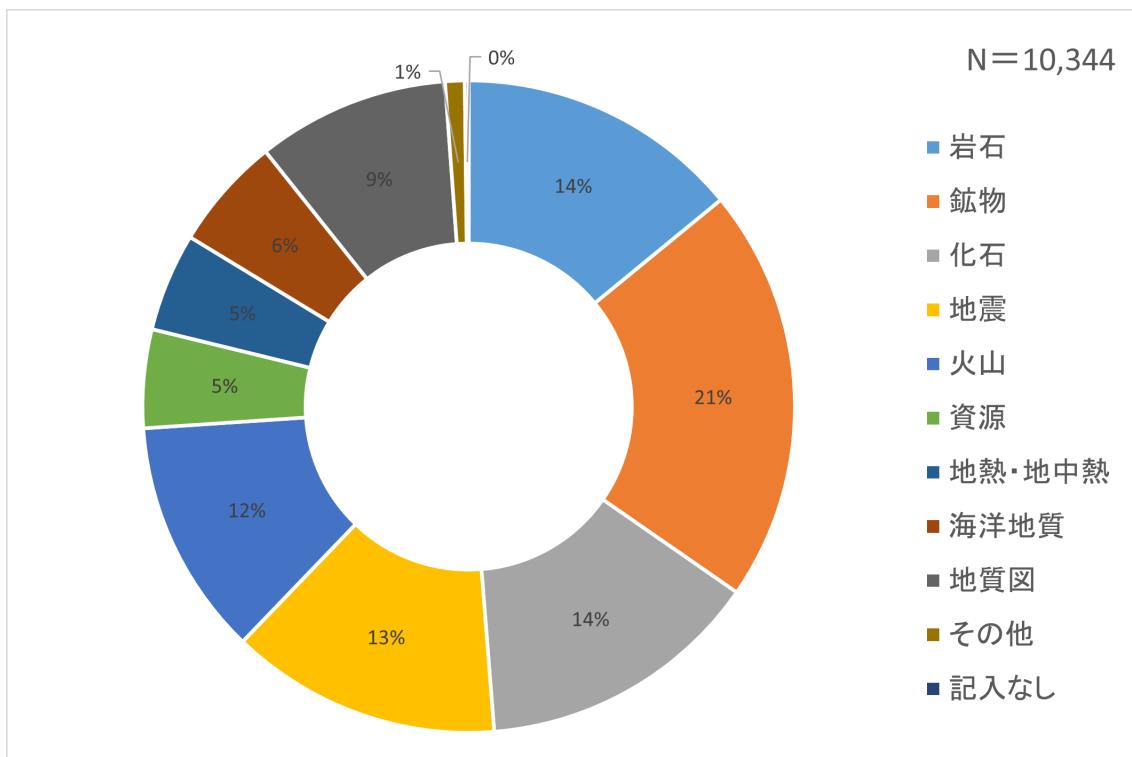
特別展やイベントの案内は地質標本館のウェブページや産総研の公式 X（旧 Twitter）、地質標本館の公式 X（運用開始：2024 年 6 月）や、ポスターの配布（つくば市内の学校関係や博物館等）などで行っている。2024 年度は館内イベントの回数を増やし、つくば市内で開催されるイベントへの参加も再開し、地質標本館の PR をおこなった。ただ、来館のきっかけ（第 3 図）からは、「その他」が一番多く、次に地質標本館のウェブページが多い。地質標本館のウェブページが利用されている結果ではあるが、「産総研 SNS」や「他の SNS」の割合も年々増加傾向（2023 年度以前は 4%）にあり、インターネット関連が 5 割を超えて伝達手段として主流となってきていることがわかる。従来型の「ポスター」の割合に、変化は見られないが、関心がない人々の目に触れる可能性があると考える。「その他」の割合が依然として大きいのは、学生が学校の行事で来館した場合や、近くに来たので立ち寄ったという方もかなり多いと考える。



第 3 図 来館のきっかけ

### 3.4 興味を持った展示テーマ

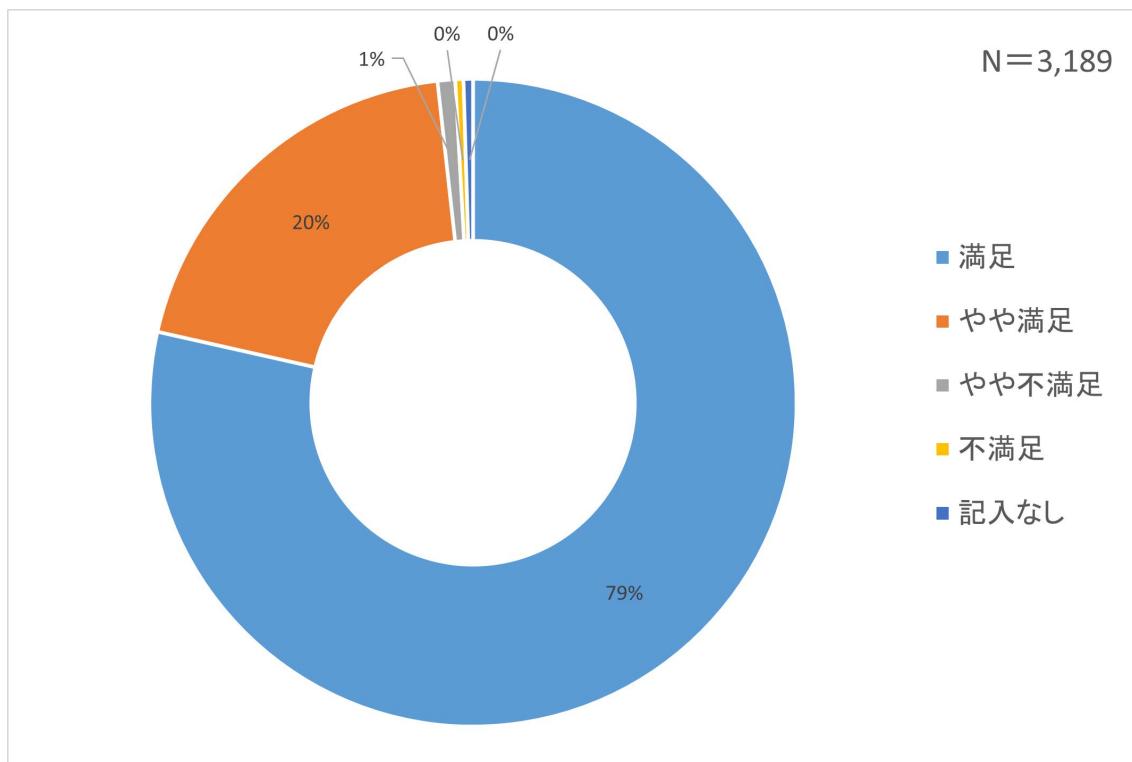
ここでは、興味を持った展示テーマを、その他を含めて10のキーワードでの選択式として、複数回答可とした。（昨年度から、8→10のキーワードに変更）集計結果を第4図に示す。その他として回答のあったものに、記入式で具体的な展示物などを書いていただいた。例年は「鉱物」「化石」が人気で、「岩石」を含めて約5割を超えていたが、今年度は5割を割り込み、それ以外のテーマや特別展・企画展にも興味を持っていただけた。また、3Dプロジェクトマッピング解説によって、「地質図」にも興味を持ってもらえたようである。



第4図 興味を持った展示テーマ

### 3.5 展示物について（展示の仕方、表示方法）

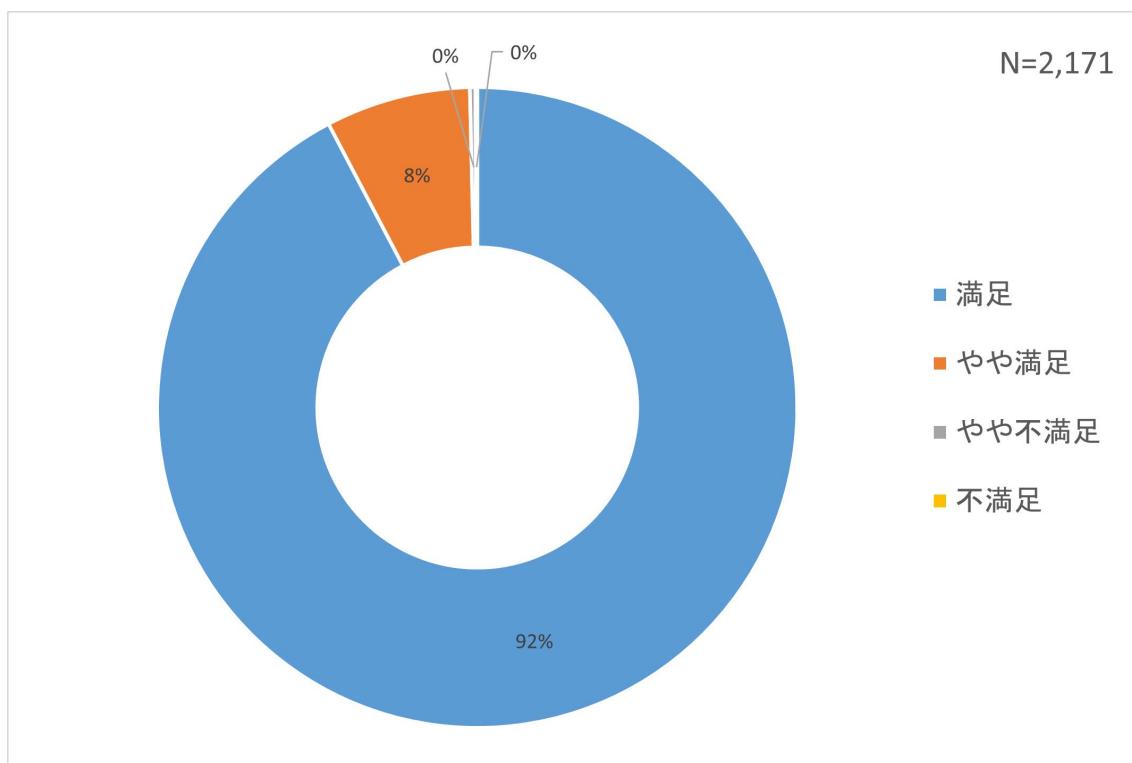
展示の仕方、表示方法について、①満足、②やや満足、③やや不満足、④不満足の4段階で回答をしていただいた。集計結果は第5図にあるように99%が「満足」、「やや満足」との回答をいただいた。「やや不満足」と回答された中では、展示物への改善を求めるものもあり、改修の検討が必要と考える。



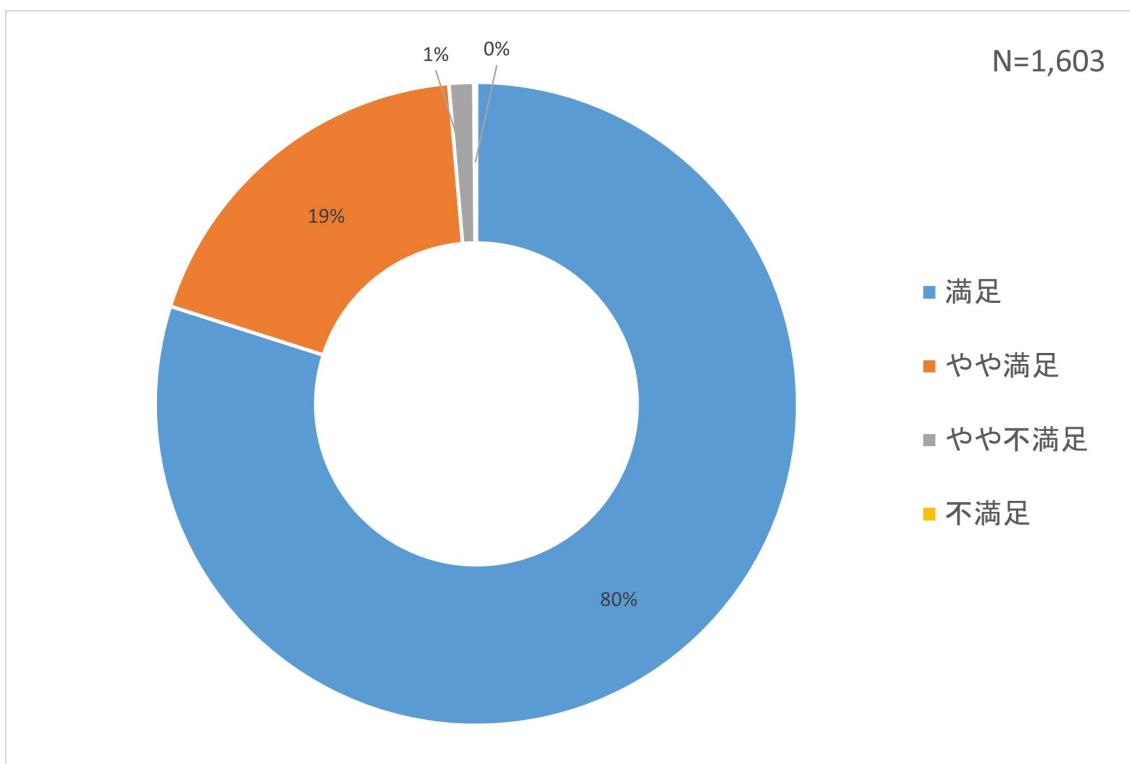
第5図 展示物について（展示の仕方、表示方法）

### 3.6 解説案内・二次元コード解説

地質標本館として提供している解説案内・二次元コード解説については、①満足、②やや満足、③やや不満足、④不満足、⑤利用していないの5段階で回答をすることになっている。集計結果（利用していない、記入なしを除く）のうち解説案内を第6図に、二次元コード解説を第7図に示す。地質標本館として提供している解説サービスには、(1)スタッフによる予約団体への説明解説、スタッフや館長による解説、(2)スマートフォンやタブレット利用による二次元コード解説システムがある。回答総数3,189件のうち、解説サービス利用は、解説案内2,171件、二次元コード解説1,603件となっている。館内に公衆Wi-Fiが導入されたことで環境が改善され、二次元コード解説システムによる日英の文字及び音声解説もあり、利用者からは良い感触を得ているが、「知らなかった」や「気が付かなかった」等のコメントも多く見られることから、二次元コード解説を利用してもらうための改善が必要と考える。



第6図 解説案内



第7図 二次元コード解説

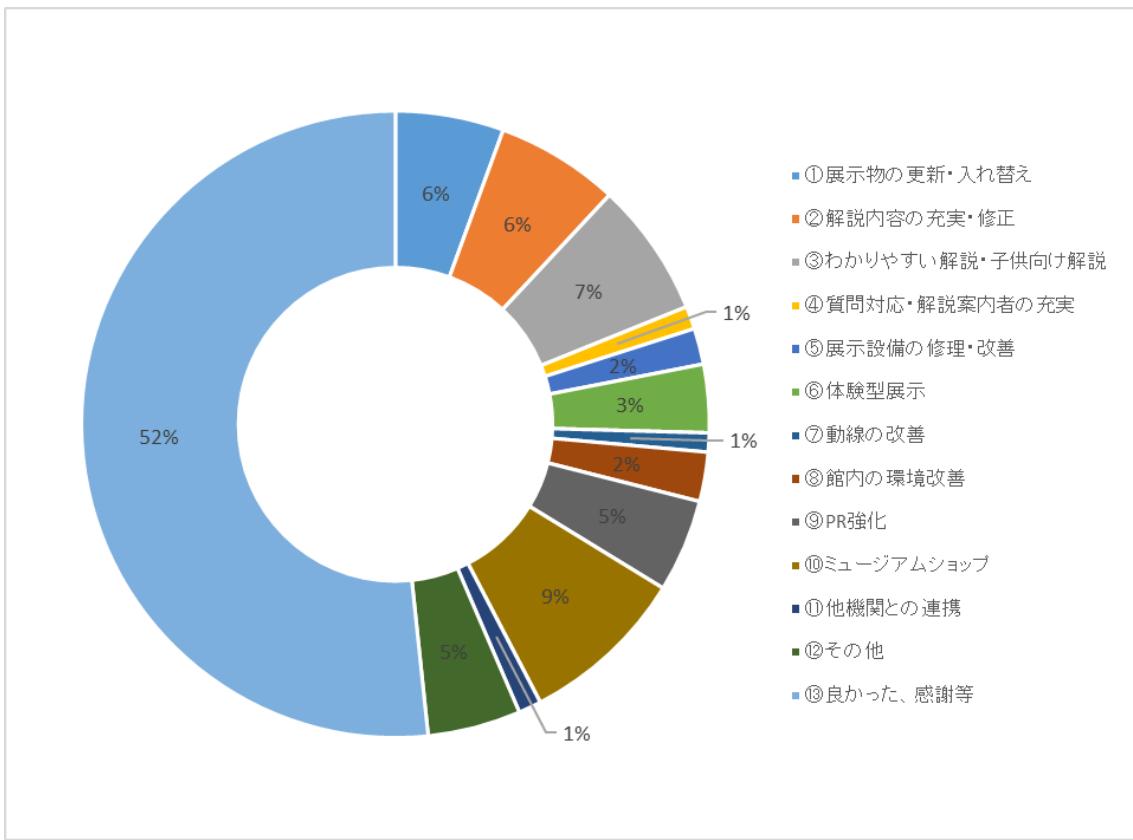
### 3.7 ご意見、ご要望

最後に自由記述で、全体のご意見、ご要望をうかがうこととしている。

これまで、自由意見として寄せられた内容を、2015 年度までの報告書（地質情報基盤センター, 2016a）に従って以下の 13 のキーワードに整理してきており、今回もそれに沿って整理した（第 8 図）。一番多いコメントは、要望ではなく「良かった」という内容の意見・感謝等であった（52 %：コメント有 1,022 件中 528 件）。特に館長が解説する「日本列島大型 3D プロジェクションマッピング」についてコメントが多く、好意的なコメント増につながっている。意見・要望で 1 番目に多いコメントは、例年同様「ミュージアムショップ」であった。昨年度の 17% から 9% と大きく減ってきたのは、新たなグッズを増やしたことや、品切れをなくしたことが良かったと思われる。2 番目に多いコメントは、「わかりやすい解説・子供向け解説」についてで、小さい子供に向けた展示を望むものや、専門的な用語や説明が難しい、漢字にフリガナを付けて欲しい等の声が多かった。3 番目に多いコメントは、「解説内容の充実・修正」についてで、展示パネルや展示ラベル等の文字が小さくて読みにくい等の声が多かった。残りのコメントについてもそれぞれのキーワードと、その中で整理された意見について主だった事例を第 4 表に示す。

#### ◆13 のキーワード

- ①展示物の更新・入れ替え
- ②解説内容の充実・修正
- ③わかりやすい解説・子供向け解説
- ④質問対応・解説案内者の充実
- ⑤展示設備の修理・改善
- ⑥体験型展示
- ⑦動線の改善
- ⑧館内の環境改善
- ⑨PR 強化
- ⑩ミュージアムショップ
- ⑪他機関との連携
- ⑫その他
- ⑬良かった、感謝等



第8図 今後の展示内容の改善要望

**第4表 自由意見の中の改善要望**

①展示物の更新・入れ替え	地震年表をもっと古い歴史上の被害地震を知りたい。津波堆積物のボーリングサンプル表示が見たい。 鉱石がもっとたくさん見てみたい。
	元素関連の展示をより多く見たいと思いました。
	少しつりリニューアルしてほしい 各所の解説動画を新しくして欲しいです
	化石の展示が増えると嬉しい ミニシアターが休みながらじっくり見れたので、プログラムを増やして欲しいです
	全体的にわかりやすく興味深いのですが、数十年前からあまり更新されていないように見える展示もあるのが気になりました。
	基本的な用語の説明集をパンフレットに付けていただけだと、各説明が分かりやすいかなと思います。 More English explanations please
②解説内容の充実・修正	もっと英語の説明をお願いします 興味があるが知識が足りない一般には、もう少しわかりやすい説明がほしかった。 ホームページに読みが字が細かすぎるでの読めないので残念 もう少し岩石等で説明をかけて欲しい。 音声映像等の説明がもっとあったら良かった。
	説明があると、なぜライトアップしているかや拡大しているかなどの理由が分かりやすいと思います。 自由度が高くていいのですが、見ているうちにどう周ったらしいのかわからなくなるので、おすすめルートがあるといいます 少し暗い部屋での細かい字が見えない展示があったが全体的に非常に満足しました。
	これだけのものを無料展示していただけるのはとてもありがとうございます。子供でもわかりやすい展示を希望します。 並べ方、数量がスペースに対して多すぎ？ 説明文などちょっと専門的かな？
	もう少し初心者向けの説明があるとよい 大人は楽しいし知識が深まりますが、もう少し子供向けのコーナーもあると楽しめるし興味を持ってくれると思います。 小学校レベルも対象に含められるのであれば、フリガナもあると良いのかと思いました。
	専門用語が多く、頭の中で翻訳する必要がありました。子供向けパネルがあれば、大人も理解が進むと思います。 昔ながらの、文章が多くていまいち内容がわかりづらかった。地質図の書き方も実際に書いている映像などがあるといいと感じました。
	展示物の紹介や解説員さんの話がYouTubeで見られたらいなと思います 受付で、周期表を自由に取れるようにすることで、鉱物等を見るときに組成にまで注目できるようになるのではと思った
④質問対応・解説案内者の充実	部屋に解説員がなく、聞きたいことが聞けないのが残念 もっとガイドの方がいて説明を聞きながら見たいです 植物園が職員による推し植物の解説が面白かったので、鉱物ファンによるここをぜひ見ろ！という解説が見たいです
	スイッチが付くのと付かないのがあったのが残念だった 画面が悪向きで反射して見づらい 字が小さい
	ボタンが押せない展示は残念 音声が小さくて少し聞こえにくい 調整中が多かった
	体験できる企画展があるとよい。 今後も継続してイベントの実施を頂ければ思います。
	イベントを増やしてほしい 展示での企画も良いのですが、特別企画として、館長と行くアウトドアなイベントがあったら、参加したいなと思いました。
	また伺います。ありがとうございました。 体験イベントがあれば何度も足を運ぶ機会が出来る。 子供が鉱石に触れる機会があると嬉しいです！
⑥体験型展示	順路表示がよくわからなかったので少し戸惑いました。 順路表示を分かりやすくした方がよいと思いました。
	展示室に入った時、右回りが良いか左回りが良いか迷いました。標準的なルートを矢印表示していただけると分かりやすいと思います。
	岩石切片作品は素晴らしい出来だが、少し展示位置が高くて鑑賞するには難があると感じた ちょっと寒かった
	椅子椅子ユーザーの家族がいます。日本列島大型3Dプロジェクションマッピングの展示の高さが、他の展示と同じように、膝上ぐらいに下げていただかなければいけない。
	少し展示場が薄暗く感じましたが、展示物を保護する意味もあるんですね。 子どもも見れるようなステップがほしい
	良い施設なのに、存在を知らなかった。 もっと宣伝してください。
⑨PR強化	子供の頃見た記憶より広くて楽しめた。つくばに住んでいてもこの場所を知らない人が多いと思うので、認知されるような方法を考えるといいのではないか。 特別展企画展にまつわる講演会の開催とその映像の動画展示や配信があると良いと思う。
	埼玉から来ました知名度が低いなど…とても興味深い研究内容だったので宣伝も頼張ってください このような場所があることを、最近まで知りませんでした。こんなに情報量も多く、きれいな環境で、無料ということがあります。また利用したいです。
	Googleマップなどで、もっと詳しく説明があると訪れる人が増えるとおもう。いろんな人に見にきてもらいたい。
	ぜひ、展示図録を販売してほしいです！！美しい鉱物標本の写真をたくさん使用されれば絶対に売れると思います。私は買います。何卒ご検討のほど、よろしくお願いいたします。
	見応えがあり、楽しく学べました。グッズがオリジナルのもので記念になりました。 たくさんこれからも魅力的なミュージアムグッズを期待しています。
	化学記号表と鉱物、利用法の展示が素敵だったので、クリアファイルが欲しかった
⑪他機関との連携	つくばの公的施設統一で各施設ごとのグッズがあると集めがいがあるだと思います。 日本科学未来館で科学コミュニケーターをしております。
	当館でも地学系のコンテンツ制作に苦心している部分もありますので、今後イベントなどでご一緒にできる機会があれば嬉しいです。 また時間のあるときに訪れます。本日はありがとうございました！
	地質学と関わる意外なものとのコラボ企画展みたいなものがあると面白いと思った
	簡単に入場したい。手続きが面倒。
	イベントがすぐに定員になってしまいいつも参加できないのが残念。 建物に御影石をふんだんに使っているのは、すばらしい。昼食を食べられるような簡単な施設か、コンビニかあると良かった。休日のため、カフェなども閉まっていた。外にベンチがなく、弁当なども広げることもできないし、休憩もできなかった。
	気軽に自分が拾った石が何の石かを教えてもらったりすると機会があると嬉しいです。ぜひ、そういう場を作りたいです。
⑫その他	企画展を多く開催する事を希望します 駐車場をもう少し増やして欲しい 駐車場が分かりにくい 様々なバックグラウンドを持った方の解説イベントがあると良いと思います。

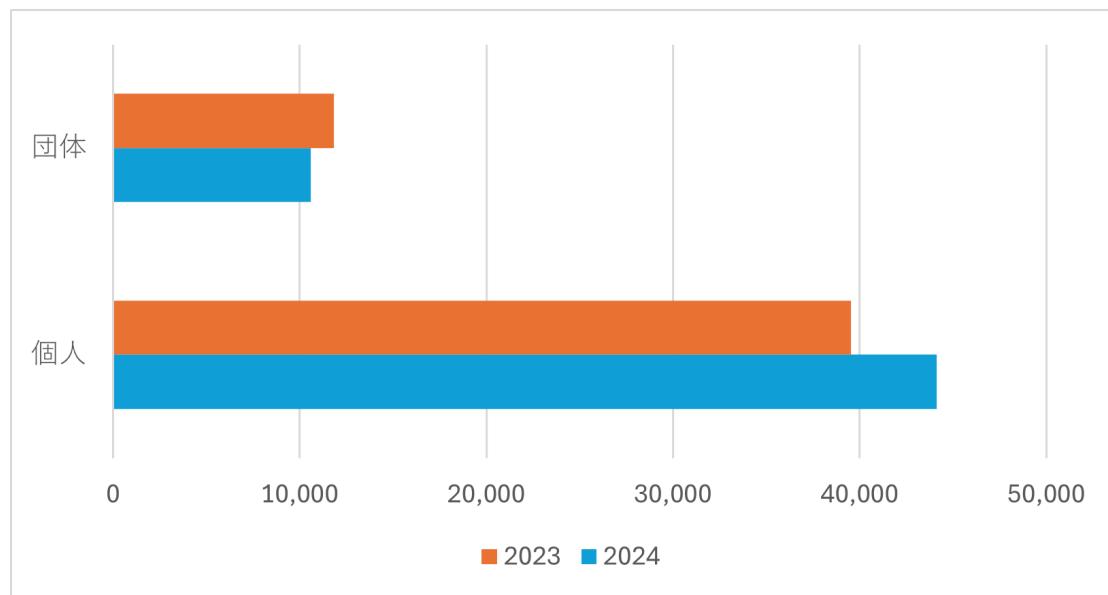
#### 4. 来館者動向と今後の対応

地質標本館受付では、継続的に来館者の統計を取っている。2024 年度のデータを第 9～13 図に示す。

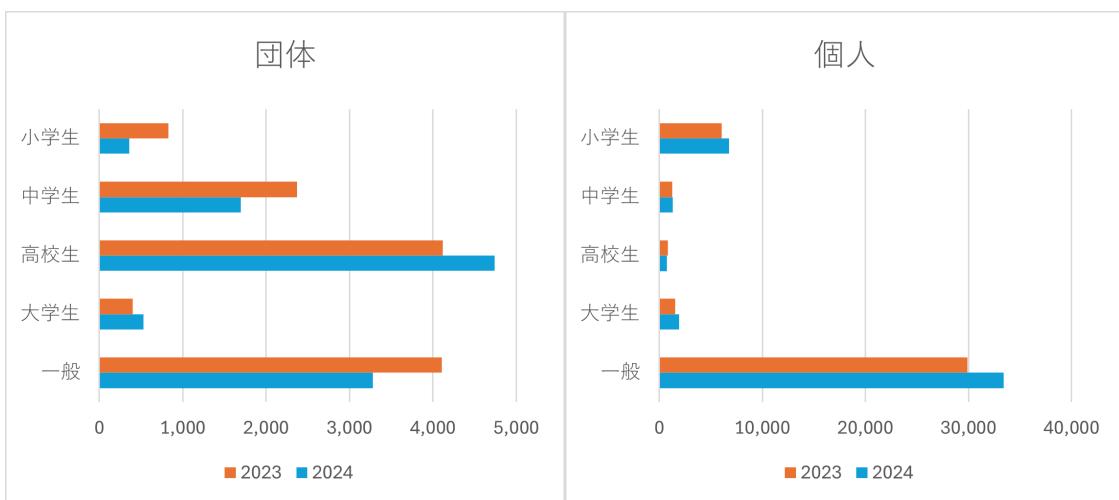
2024 年度はイベント等もコロナの影響前と同等に行うことが出来た。夏休みに開催したイベントも盛況で、来館者数も 5.4 万人を越え過去最高となった。入館者団体・個人比較（2023・2024）（第 9 図）を見ると、個人の来館者が大きく伸び、逆に団体の来館者が減少している。職種別来館者を団体と個人で昨年度と比較して見ると（第 10 図）、団体では高校生と大学生以外が前年度割れとなっており、小学生と中学生の学校行事での利用が減っていることが考えられる。個人では親と行動をしなくなる中学生・高校生が少なく、これは交通の利便性が悪い立地の影響が大きいためと考える。入館者数総計推移（職種別）（第 11 図）を見ると、来館者数が過去最高となったが、東日本大震災以降に比べると、小学生の入館者が戻っていないことが分かる。

入館者数総計推移（地域別）（第 12 図）を見ると、市内以外は順調に伸びてきて、コロナ前の水準を越えてきている。市内だけが減少しているので、今後何らかの対策が必要と考える。

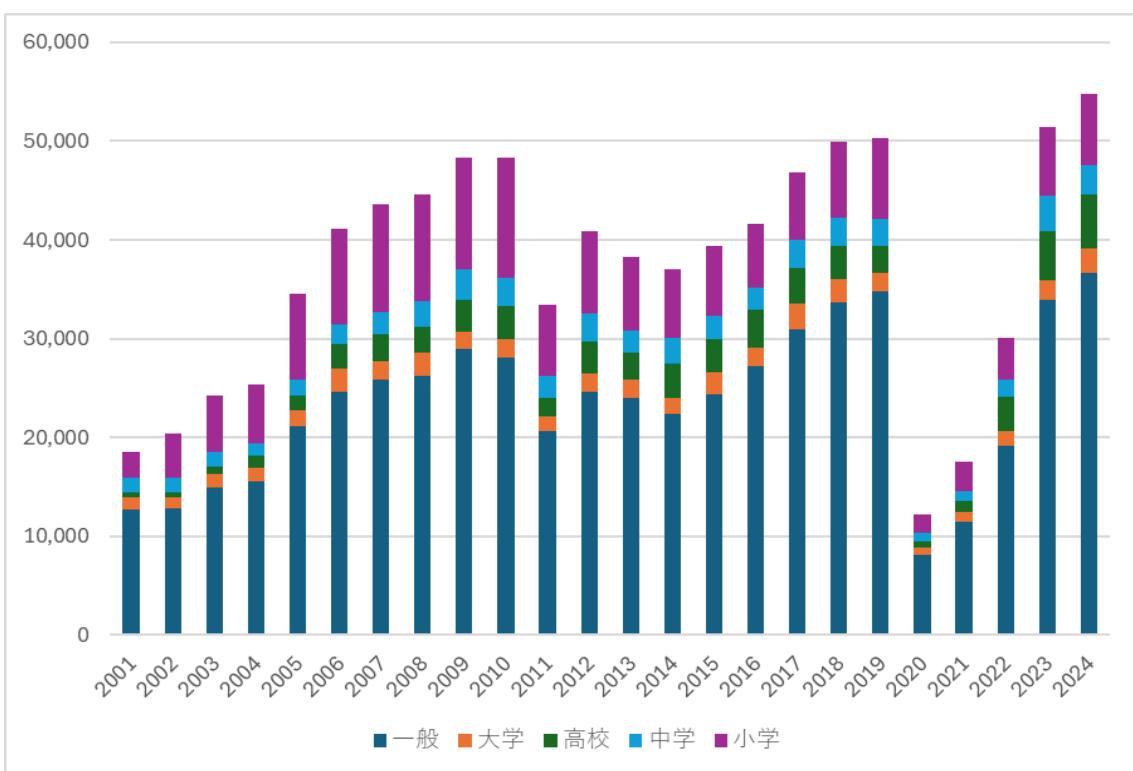
来館回数（第 13 図）については 2～5 回が約 18%、それ以上の約 5% と合わせて約 23%（人数にして約 1.3 万人）と前年度から増加して、多くの方に複数回足を運んでいただいている。この結果は喜ばしいことであるが、同時に今後リピーターに向けた展示内容の更新も検討する必要がある。



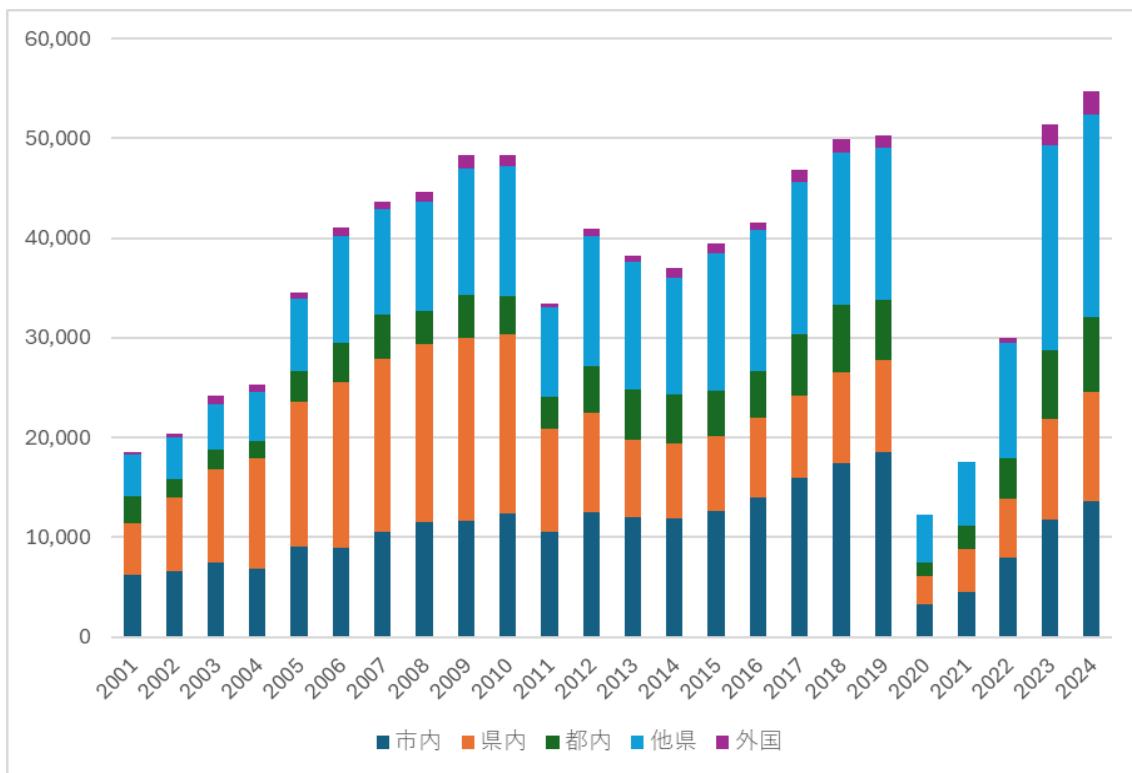
第 9 図 入館者団体・個人比較（2023・2024）



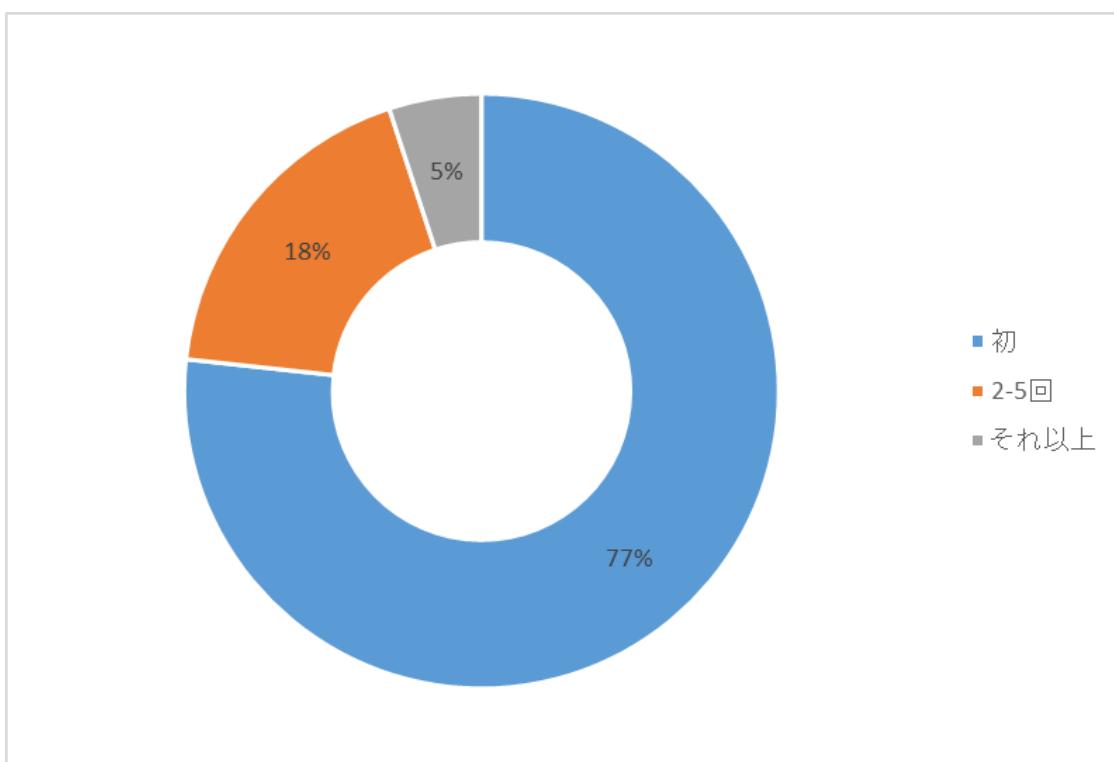
第10図 2023・2024比較 職種別来館者（団体・個人）



第11図 入館者数総計推移（職種別）



第12図 入館者数総計推移（地域別）



第13図 来館回数

## 5. おわりに

本報告では 2024 年度のアンケートを基に地質標本館の現状を分析した。

今後も地質標本館で実施するアンケート内容は、社会ニーズの把握と地質標本館の運営に対する満足度を計る指針とすることを念頭に置き、引き続き地質情報基盤センター地質標本館室運営グループにより継続的かつ定期的に報告する。これら来館者からの直接的な意見は、地質標本館の運営に反映していく予定である。

## 文献

地質情報基盤センター（2016a）地質標本館の来場者アンケート分析（2007年～2015年度夏展まで）。GSJ技術資料集No.5, AIST15-G00002-5  
[https://www.gsj.jp/data/comprep/GSJ\\_ComRep\\_05\\_2016.pdf](https://www.gsj.jp/data/comprep/GSJ_ComRep_05_2016.pdf)

地質情報基盤センター（2016b）地質標本館の来場者アンケート分析（2015年度後半：秋～冬の特別展）。GSJ技術資料集No.6, AIST15-G00002-6  
[https://www.gsj.jp/data/comprep/GSJ\\_ComRep\\_06\\_2016.pdf](https://www.gsj.jp/data/comprep/GSJ_ComRep_06_2016.pdf)

地質情報基盤センター（2017）地質標本館の来場者アンケート分析（2016年度）。GSJ技術資料集No.8, AIST15-G00002-8  
[https://www.gsj.jp/data/comprep/GSJ\\_ComRep\\_08\\_2017.pdf](https://www.gsj.jp/data/comprep/GSJ_ComRep_08_2017.pdf)

地質情報基盤センター（2018）地質標本館の来場者アンケート分析（2017年度）。GSJ技術資料集No.10, AIST15-G00002-10  
[https://www.gsj.jp/data/comprep/GSJ\\_ComRep\\_10\\_2018.pdf](https://www.gsj.jp/data/comprep/GSJ_ComRep_10_2018.pdf)

地質情報基盤センター（2019）地質標本館の来場者アンケート分析（2018年度）。GSJ技術資料集No.11, AIST15-G00002-11  
[https://www.gsj.jp/data/comprep/GSJ\\_ComRep\\_11\\_2019.pdf](https://www.gsj.jp/data/comprep/GSJ_ComRep_11_2019.pdf)

地質情報基盤センター（2020）地質標本館の来場者アンケート分析（2019年度）。GSJ技術資料集No.12, AIST15-G00002-12  
[https://www.gsj.jp/data/comprep/GSJ\\_ComRep\\_12\\_2019.pdf](https://www.gsj.jp/data/comprep/GSJ_ComRep_12_2019.pdf)

地質情報基盤センター（2023）地質標本館の来場者アンケート分析（2020～2022年度）。GSJ技術資料集No.13, AIST15-G00002-13  
[https://www.gsj.jp/data/comprep/GSJ\\_ComRep\\_13\\_2020-22.pdf](https://www.gsj.jp/data/comprep/GSJ_ComRep_13_2020-22.pdf)

地質情報基盤センター（2024）地質標本館の来場者アンケート分析（2023年度）。GSJ技術資料集No.14, AIST15-G00002-14  
[https://www.gsj.jp/data/comprep/GSJ\\_ComRep\\_14\\_2023.pdf](https://www.gsj.jp/data/comprep/GSJ_ComRep_14_2023.pdf)

地質調査総合センター技術資料集 15

## 地質標本館の来場者 アンケート分析

(2024 年度)

2026 年 1 月

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター 地質情報基盤センター  
〒305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1 中央事業所 7 群

【執筆・集計担当】 武井勇二郎・藤原智晴・朝川暢子・瀬口寛樹・福田和幸・中澤努

【レイアウト担当】 朝川暢子

【問い合わせ】 <https://www.gsj.jp/inquiries.html>

本報告書は産業技術総合研究所地質調査総合センターの組織著作物です。

「政府標準利用規約（第 2.0 版）」準拠



ともに挑む。つぎを創る。



産業技術総合研究所 地質調査総合センター  
〒305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1 中央事業所 7 群  
<https://www.gsj.jp/>